

Audio Accessory 2015 WINTER 159 - JAPAN



アナログとデジタルに両対応
豊富な機能のデジタルアンプ



Text by
鈴木 裕
Yusaku Suzuki

ADL STRATOS

DA/ADコンバーター内蔵デジタルアンプ/¥139,800(税別)

SPEC

●最大対応サンプリングレート(USB):DAコンバーター→384kHz/32bit(PCM)、11.2MHz/1bit(DSD)、ADコンバーター→192kHz/24bit ●入力端子:RCA同軸デジタル×1、光TOS×1、USB(Bタイプ)×1、RCA×1、PHONO(MM/MC)×1 ●出力端子:RCA×1、XLR×1、光TOS×1、USB(Bタイプ)×1、6.3mmステレオ標準×1、4極XLR×1 ●サイズ:215W×64H×180Dmm ●質量:約1.33kg ●取り扱い:フルテック様

PROFILE

フルテックが展開するADLブランドにラインアップされる、AD/DAコンバーター搭載の据え置き型デジタルアンプ。MM/MCのアナログ再生への対応、AD変換によるデジタルデータ化、DAコンバーターとしてのデジタル再生、バランス駆動に対応するヘッドフォンアンプ、ボリュームコントロールの搭載によるプリアンプとしての機能を、全て高い次元で獲得している多機能性が特徴となる。



各種デジタル入力端子のほか、RCAのアナログ入力も装備。PHONOはMM/MCに対応する

●本機の概要を知る
デジタルとアナログに両対応
優れた機能を豊富に備える

ADLのSTRATOSは盛りだくさんの製品だ。基本的にはUSB DACだが、ヘッドフォン端子に力が入っている。16/600Ωのヘッドフォンに対応。また、いわゆるバランス接続用の4極端子として、キヤノン端子と2.5mm径ミニジャック端子も持っている。入力側の端子にはライン入力、他、アナログプレーヤー用があり、MM/MCのカートリッジに対応したフォノイコライザーアンプとしても使える。ライン出力としてはボリュームが効くので、パワーアンプやアクティブタイプのスピーカーに直接入力できる優秀なデジタルプリアンプとしての活用も可能だ。また、ADコンバーター機能も持っているUSBのB端子から出力し、パソコン等に接続してアナログ音源をデータ化することにも使える。対応しているフォーマットはDSDが11.2MHzまで、PCMが384kHz/24bitまで。使っているUSBチップはX-MOS、DACデバイスはES9018K2を採用している。

●本機の音に触れる
ストリートで透明感の高い
アキュレートな表現を持つ

まずUSB DAC/プリアンプとしてプリアンプにダイレクトに入力した音は、ノイズフロアの低さを感じさせるもので、低域はやや量感タイプながらダイナミック。収録現場の空気感が良く出てくるし、柔らかい音、鋭い音といった音の感触の描き分けがきちんとある。続いてセンハイザーのHD650(300Ω)でヘッドフォン端子の音を聴いたが、帯域バランスとしては若干中高域寄り、鮮度感の高い音。低域はストリートで透明感の高いトーンだ。これはフォノイコライザーとしての音にも共通したもので、アキュレートを日指しているようだ。

本機に組み合わせたい お薦め機器

カセットデッキやアナログプレーヤーを接続して、そうしたアナログ音源をデータ化するのにふさわしい製品だ。音自体は、基本的に端正なアキュレートなもので、接続したコンポーネントの音を出してくる。たとえばアンプにトライオードのTRX-P3Mを持ってきて真空管の味を楽しむとか、スピーカーをハースHL-P3ESRにして温かみのある音を聴くなどだ。